

環境に関するアンケート調査  
結果報告書

令和2年度  
久留米市環境部

## 目次

### I 調査概要

- 1 調査目的
- 2 調査方法
- 3 調査項目
- 4 回収状況
- 5 報告書内のデータ記述について

### II 調査の属性

- 1 回答者の属性

### III 調査結果

#### 1. 生物多様性について

- (1) 生物多様性の認知度
- (2) 生物多様性に配慮した行動
- (3) 保全活動への参加について
- (3-1) 参加したい保全活動内容
- (4) 市民への浸透手法
- (5) 自然環境の魅力の高まりについて

#### 2. プラスチック問題について

- (1) 海洋プラスチックごみ問題の認知度
- (2) 使い捨てプラスチック製品を減らす取り組み
- (2-1) プラスチックごみ削減の具体的な取り組み
- (3) プラスチック製買物袋(レジ袋)の有料化による行動の変化
- (3-1) 有料化による行動の変化の内容

#### 3. 環境全般について

- (1) 周辺環境全体の満足度
- (2) 周辺環境に関する具体的事項の満足度
- (3) 環境に配慮した取り組み
- (4) 環境を守るために実践していること
- (5) 環境に関する活動に参加しやすくするために必要なこと
- (6) 環境を守るための施策

#### 4. アンケート結果考察

#### 5. アンケート調査内容

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

環境問題や市民の日常生活について意識と行動の両面からとらえ、市民の意識等を明らかにし、久留米市環境基本計画および久留米市生物多様性地域戦略「くるめ生きものプラン」の改定等の基礎資料として活用することを目的とする。

### 2 調査の方法

- (1) 調査地域…久留米市全域
- (2) 調査対象者…久留米市在住の満 18 歳以上の市民
- (3) 選任方法…住民基本台帳から無作為抽出した候補者の中からモニターを募集
- (4) 実施方法…郵送による配布・回収
- (5) 調査期間…令和 2 年 11 月 24 日 ~ 令和 2 年 12 月 14 日
- (6) サンプル数…360

### 3 調査項目

#### A 属性

- ・性別
- ・年齢
- ・職業
- ・居住地域

#### B 生物多様性について

- ・生物多様性の認知度
- ・生物多様性に配慮した行動
- ・保全活動への参加について
- ・保全活動内容
- ・市民へ浸透の手法
- ・市内の自然環境の魅力について

#### C プラスチック問題について

- ・海洋プラスチックごみ問題の認知度
- ・使い捨てプラスチック製品を減らす取り組み
- ・プラスチックごみ削減の具体的な取り組み
- ・プラスチック製買物袋(レジ袋)の有料化による行動の変化
- ・有料化による行動の変化の内容

#### D 環境全般について

- ・周辺環境全体の満足度
- ・周辺環境に関する具体的事項の満足度
- ・環境に配慮した取り組み
- ・環境を守るために実践していること
- ・環境に関する活動に参加しやすくするために必要なこと
- ・環境を守るための施策

#### 4 回収状況

(1)回収状況…回収数 162 回収率 45.0%)

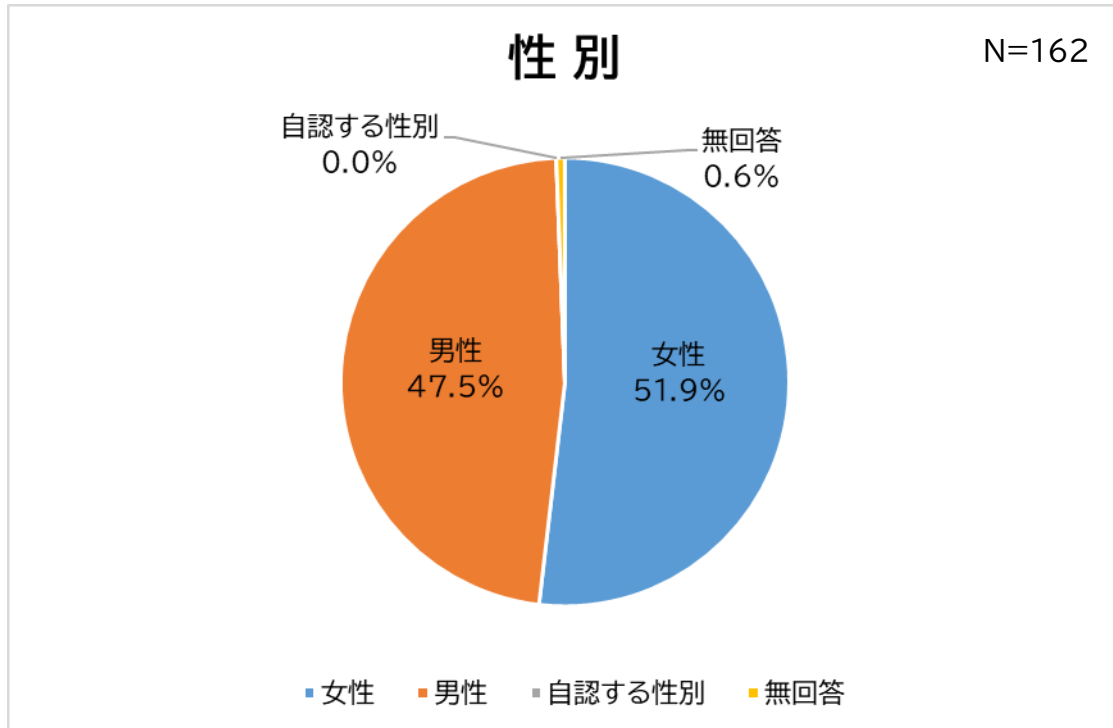
#### 5 報告書内のデータ記述について

- ・基数となるべき実数はnとして掲載した。各比率はnを100%として算出した。
- ・集計結果の百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入した値を表記している。このため、単数回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答設問では、当該設問の回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。

## Ⅱ 調査の属性

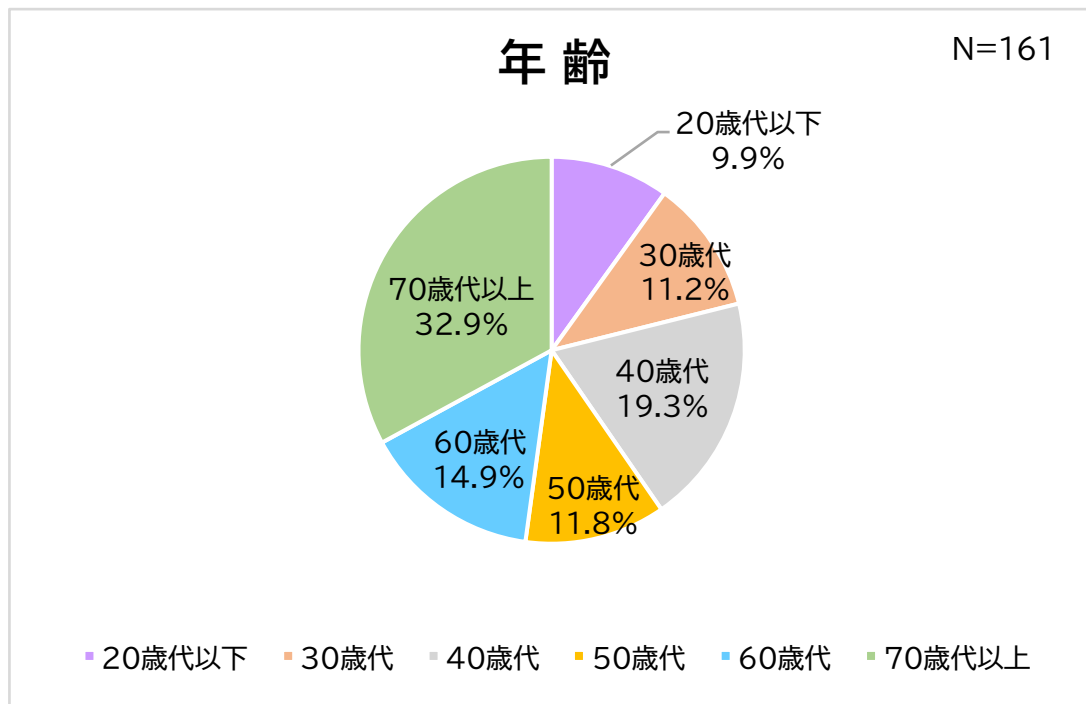
### 1 回答者の属性

#### (1)性別



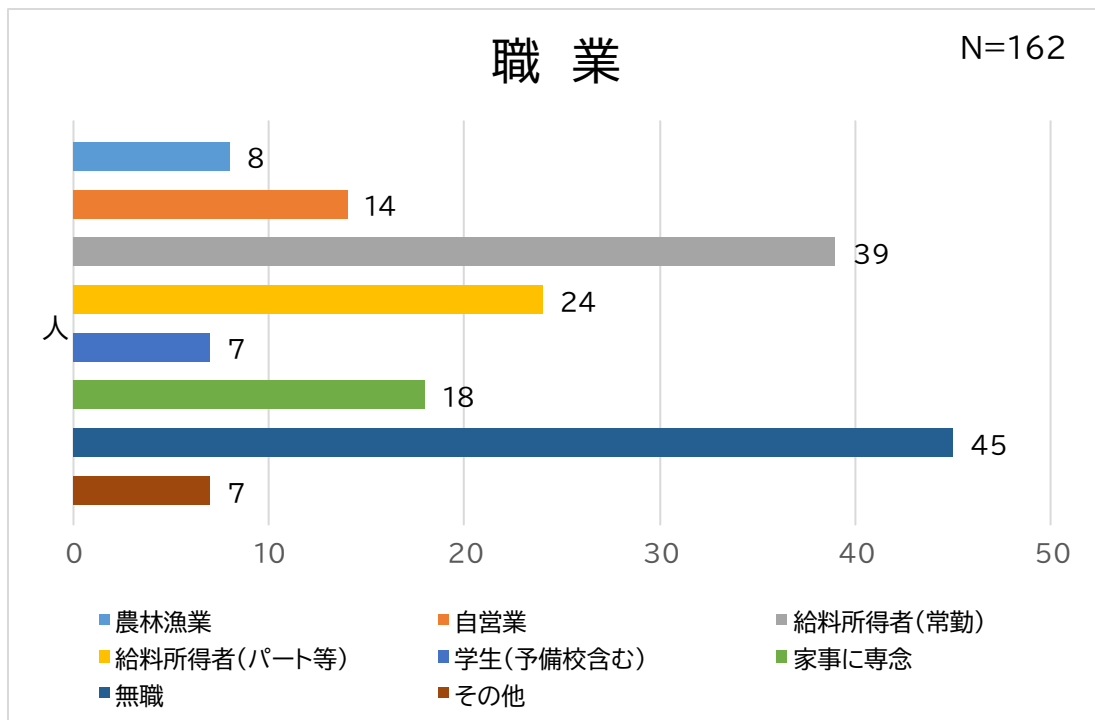
●市全体の性別比率は、女性 52.5%、男性 47.5%で、ほぼ同じ比率となっている。

#### (2)年齢



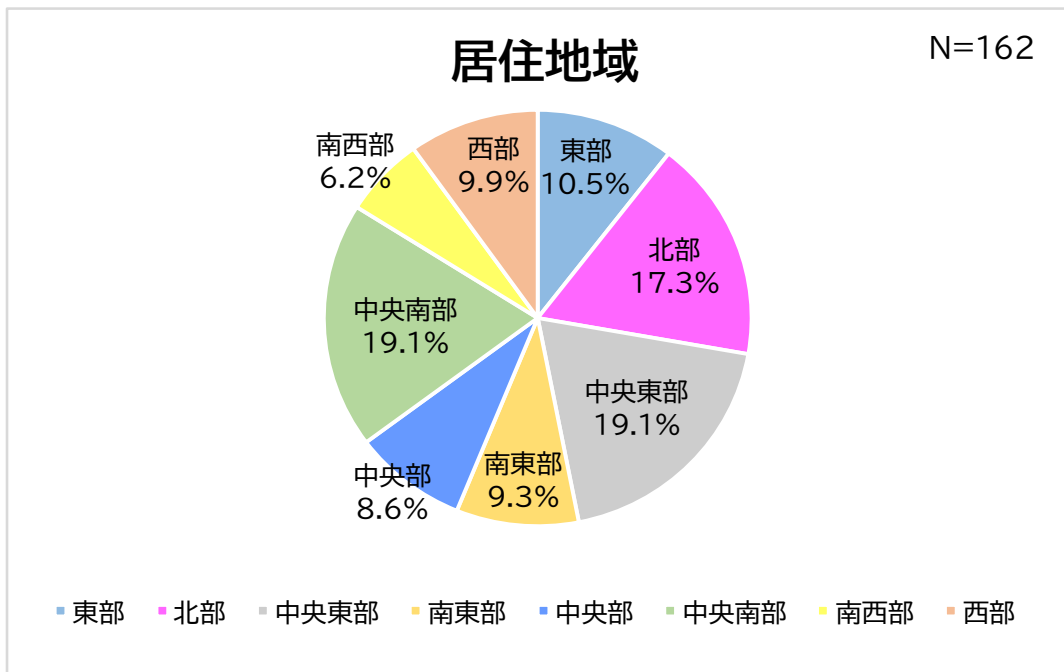
●回答者の年齢は、「70歳代以上」が 32.9%と最も多く、次いで「40歳代」が 19.3%、などとなっている。

### (3) 職業



●職業は、「無職」が最も多く、次いで「給料所得者(常勤)」、「給料所得者(パート等)」などとなっている。

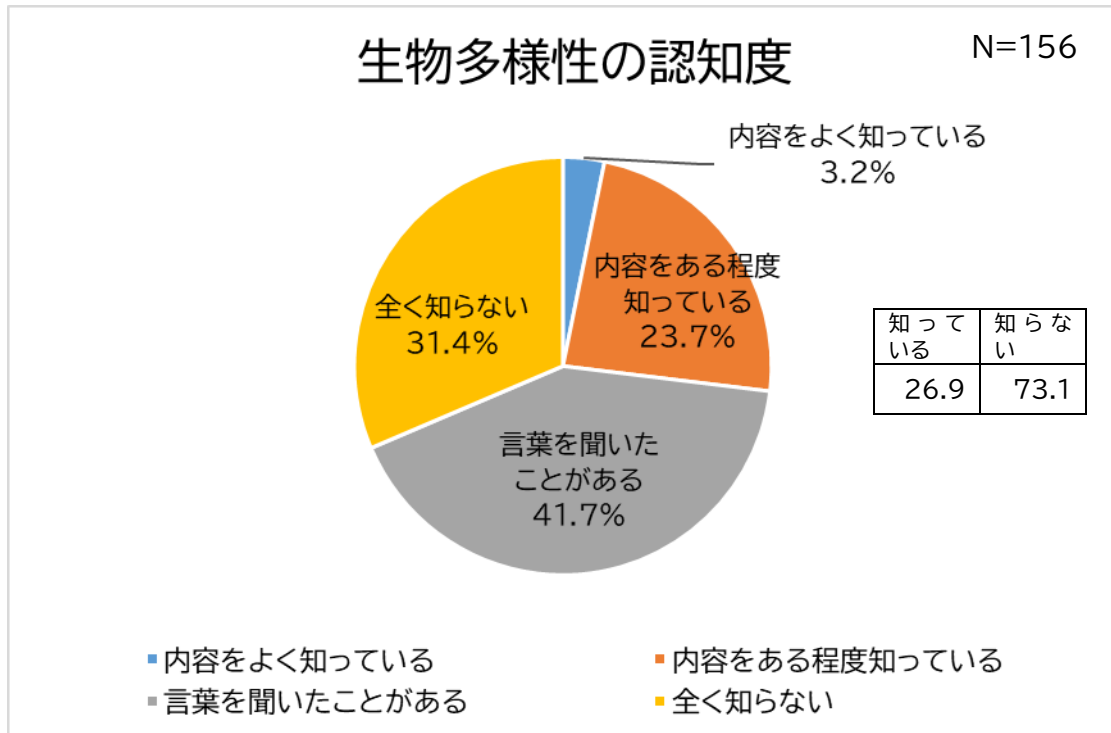
### (4) 居住地域



東部	山川、山本、草野、善導寺、大橋、船越 水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸	中央部	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
北部	小森野、合川、宮ノ陣、北野、弓削、大城、金島	中央南部	烏飼、金丸、南、津福
中央東部	西国分、東国分、御井	南西部	荒木、大善寺、安武
南東部	上津、高良内、青峰	西部	城島、下田、青木、浮島、江上、犬塚、三瀧、西牟田

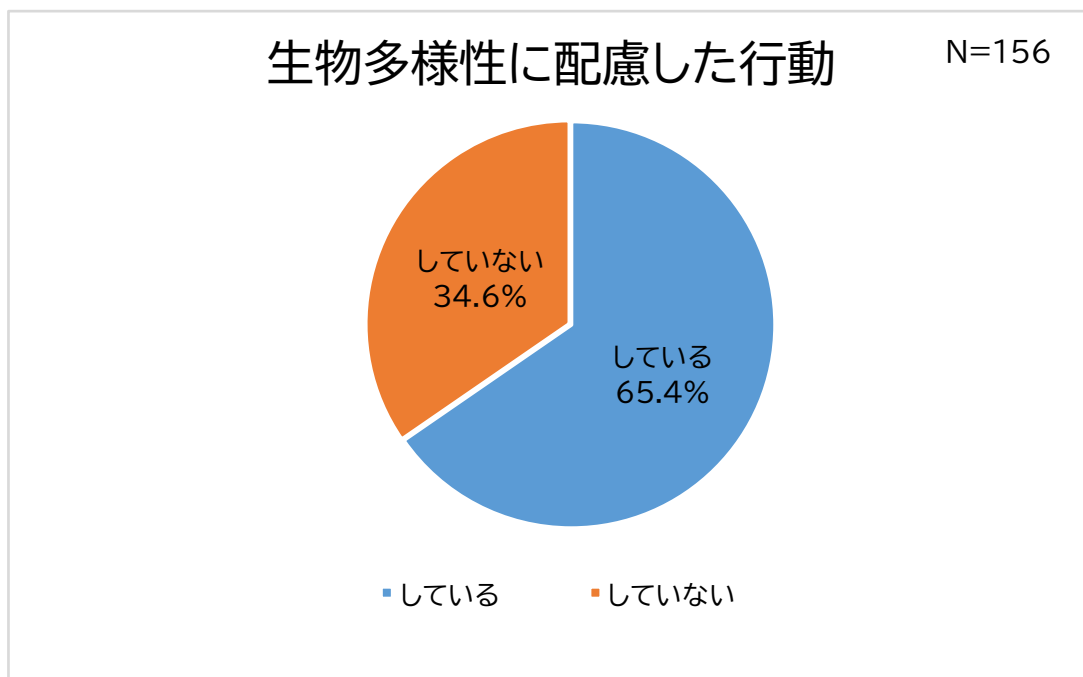
## 2 生物多様性について

### (1) 生物多様性の認知度



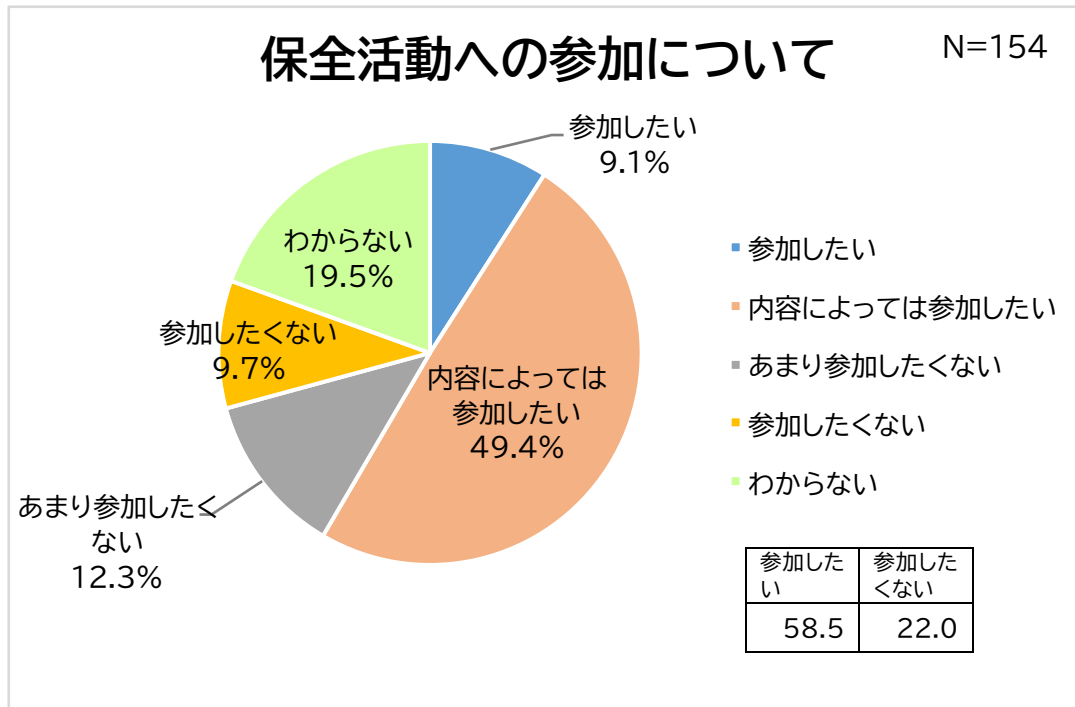
- 「生物多様性」という言葉の意味を知っていると回答した人は 26.9%となっている。  
また、知らないと回答した人の中では 30 歳代が最も多く、次いで60歳代が多かった。

### (2) 生物多様性に配慮した行動



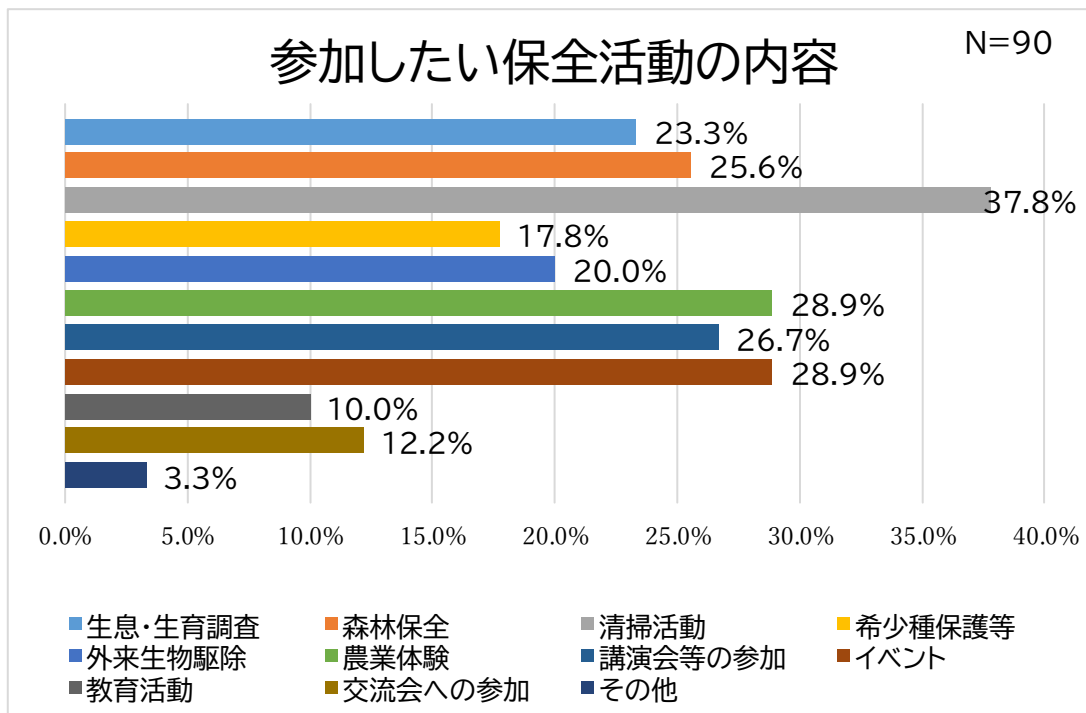
- 生物多様性に配慮した行動を「している」と回答した人は 65.4%となっている。

### (3) 保全活動への参加について



● 生物多様性を守る活動に参加したいと回答した人は 58.5%と半数以上の人が参加したいと思っている。

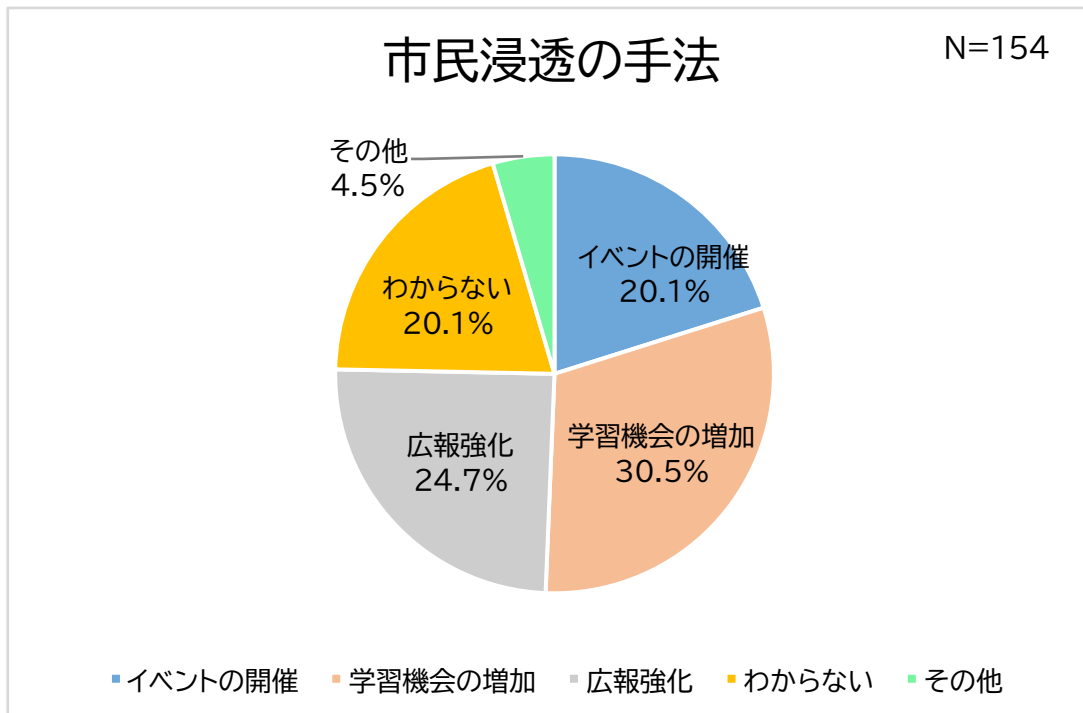
#### (3-1) 参加したい保全活動内容



● 生物多様性を守る活動内容では、「清掃活動」が 37.8%と最も多く、次いで「農業体験」と「イベント」が 28.9%などとなっている。

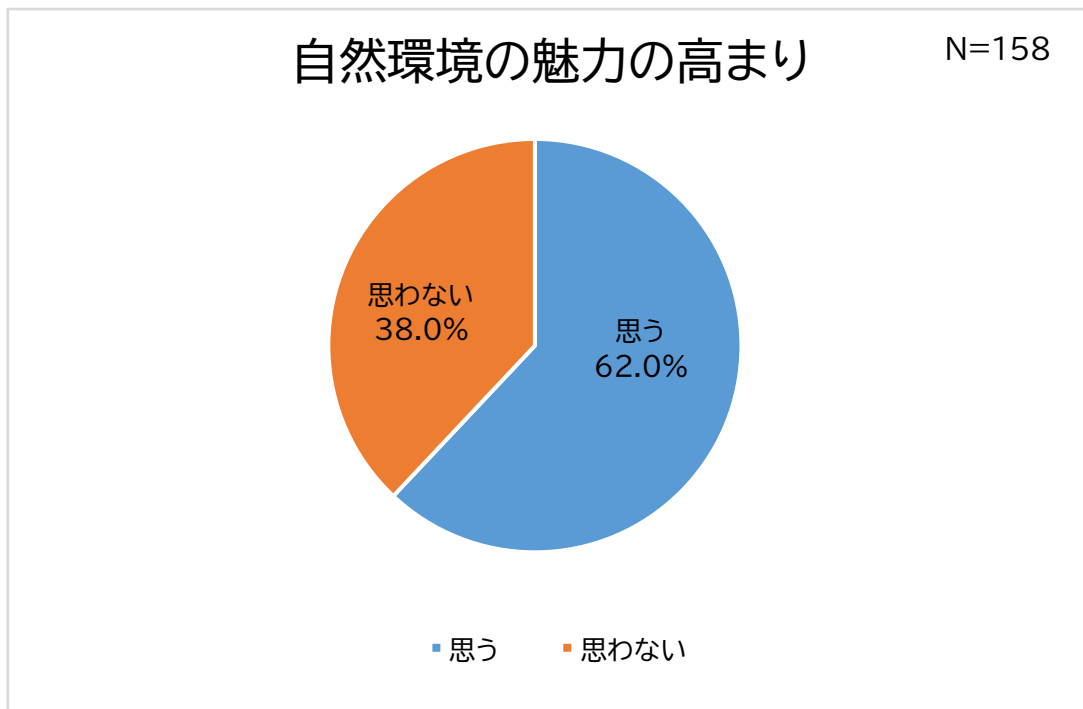


#### (4) 市民浸透の手法



● 生物多様性の重要性を市民に浸透させるために必要なことについては、「学習機会の増加」が 30.5%と最も多く、次いで「広報活動」が 24.7%などとなっている。

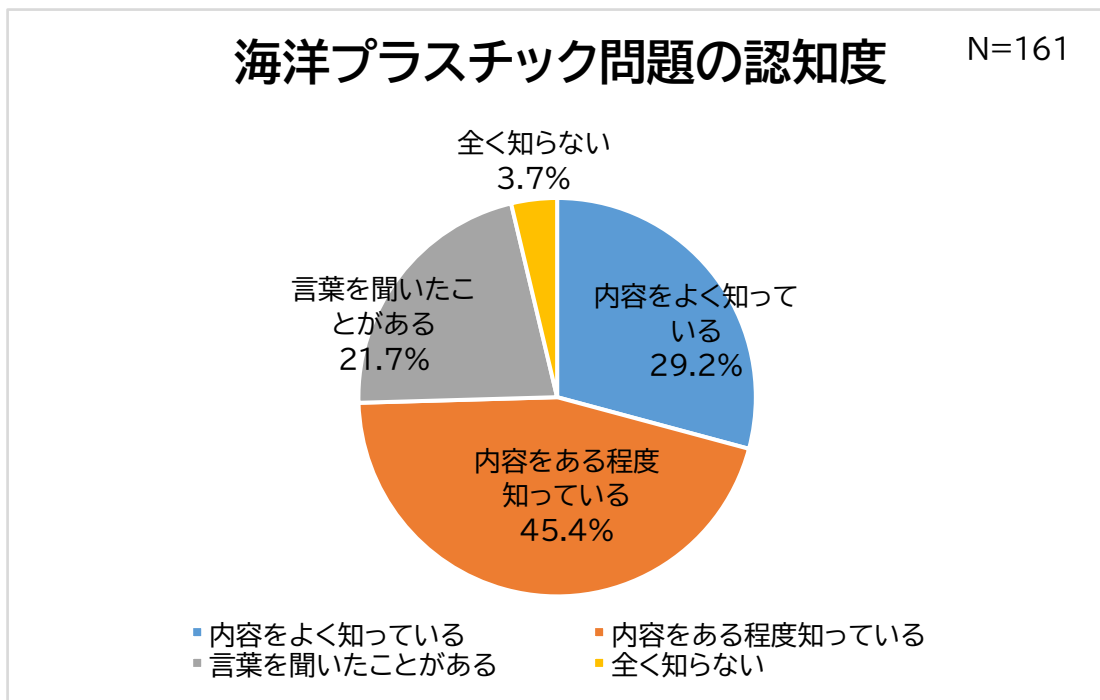
#### (5) 自然環境の魅力の高まり



● 自然環境の魅力の高まりの満足度は、62.0%となっている。

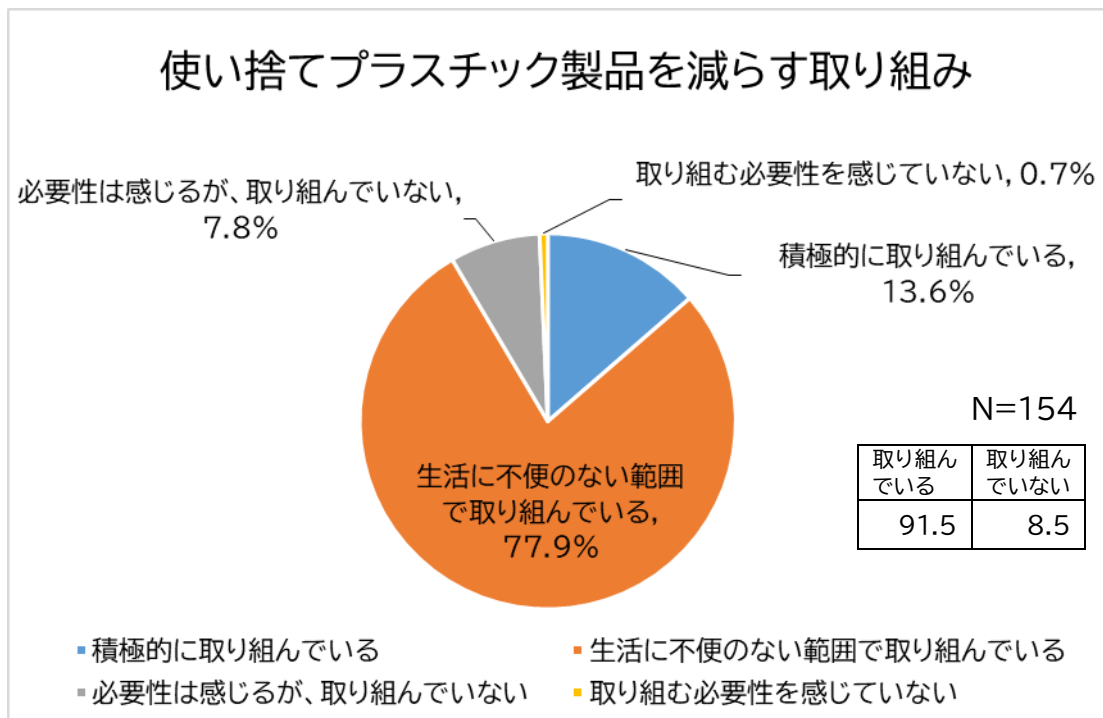
### 3 使い捨てプラスチック製品の使用(購入)抑制について

#### (1) 海洋プラスチック問題の認知度



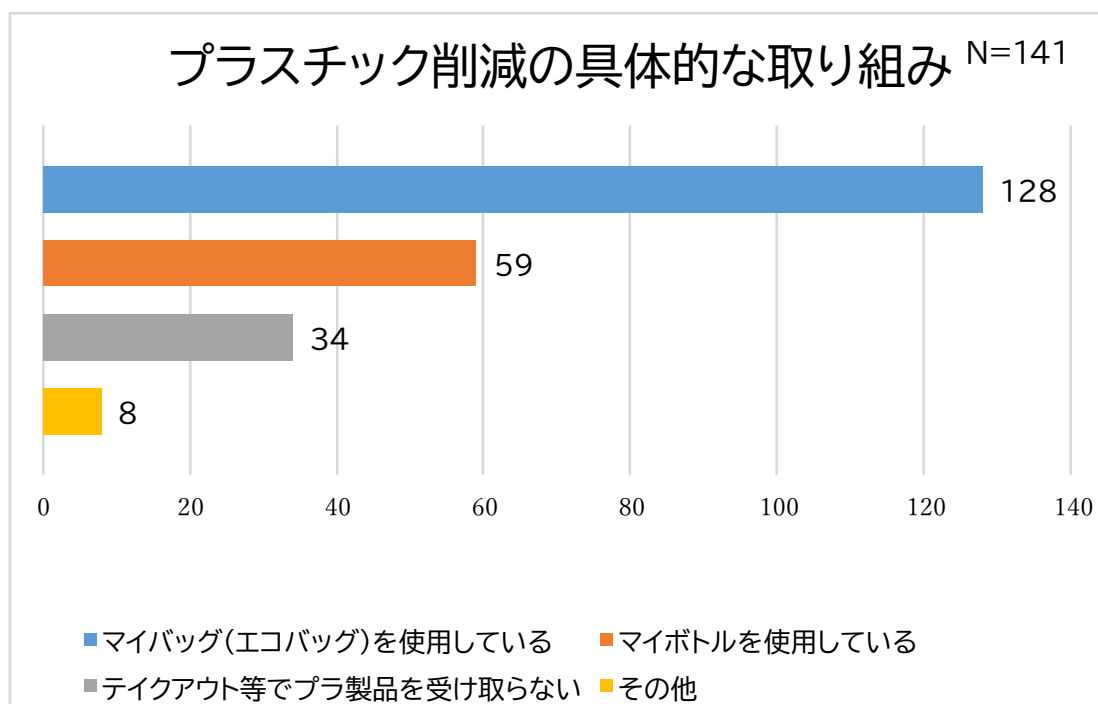
●「海洋プラスチック問題の認知度」は 74.6%と多くの方が認知している。また、知らないと回答した人の中では20歳代以下が最も多く、次いで30歳代が多かった。

#### (2) 使い捨てプラスチック製品を減らす取り組み



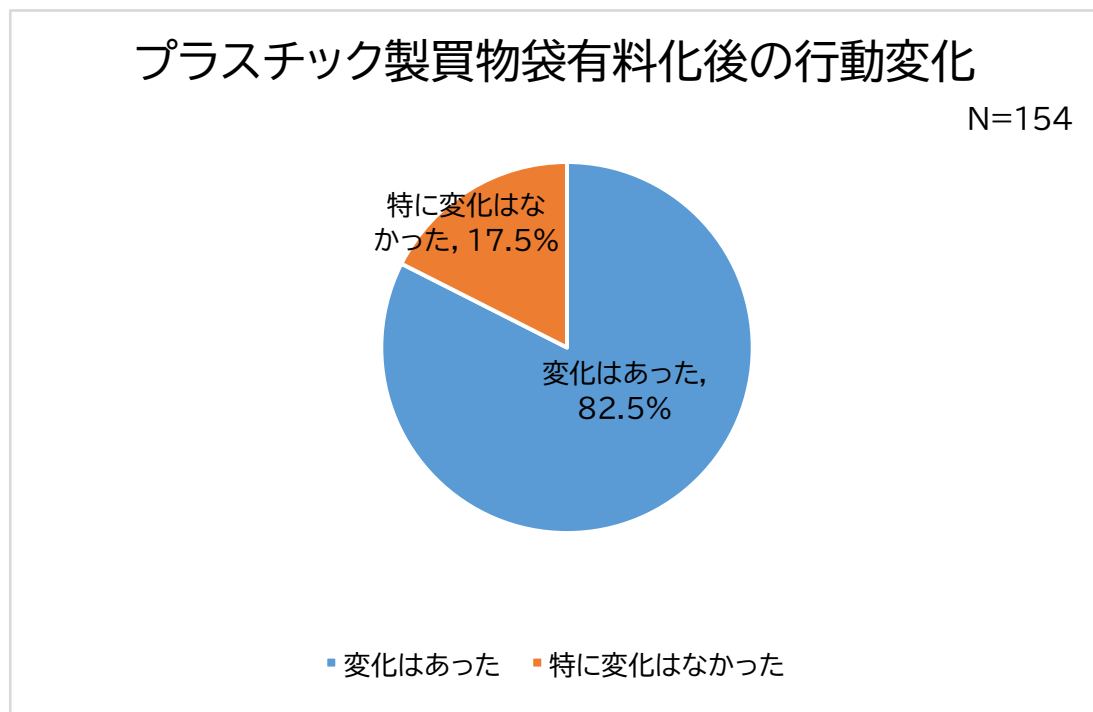
●「取り組んでいない」と回答した人は、30歳代が最も多く、次いで70歳代以上となっている。

### (2-1) プラスチック削減の具体的な取り組み



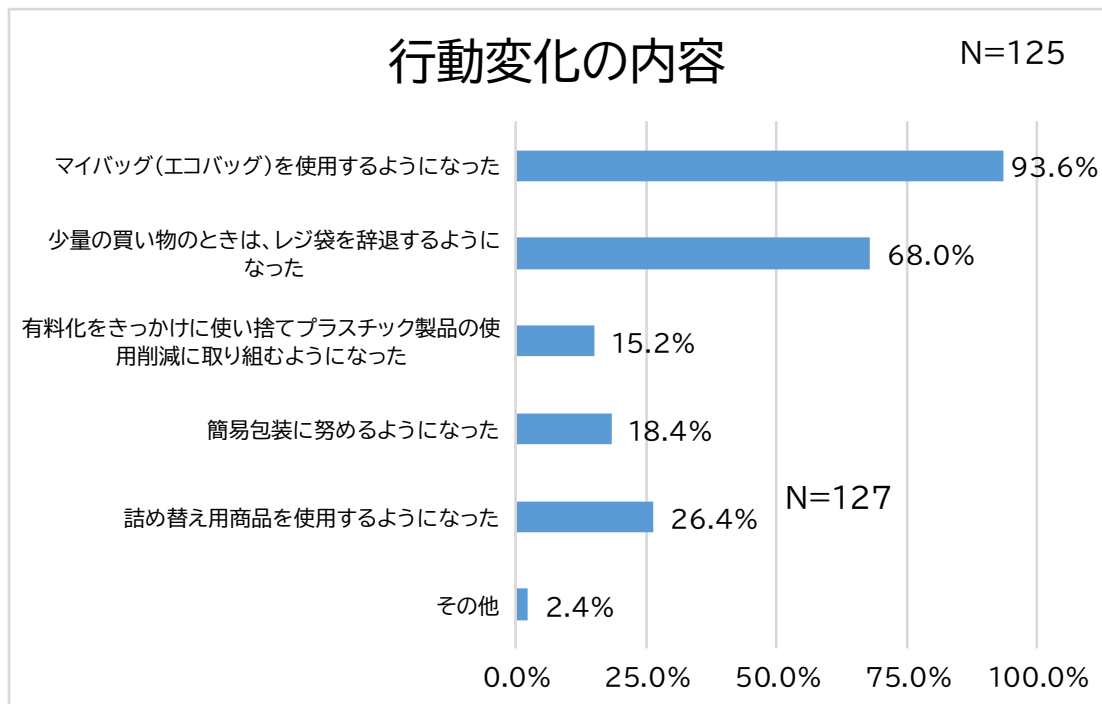
●「マイバッグ(エコバッグ)を使用している」と回答した人が、90.8%と最も多かった。

### (3) プラスチック製買物袋(レジ袋)の有料化による行動の変化



●「変化があった」と回答した人は、82.5%だった。また、「特に変化はなかった」と回答した人のうち、74.0%の方が、すでにプラスチック削減の取り組みを実施していた。

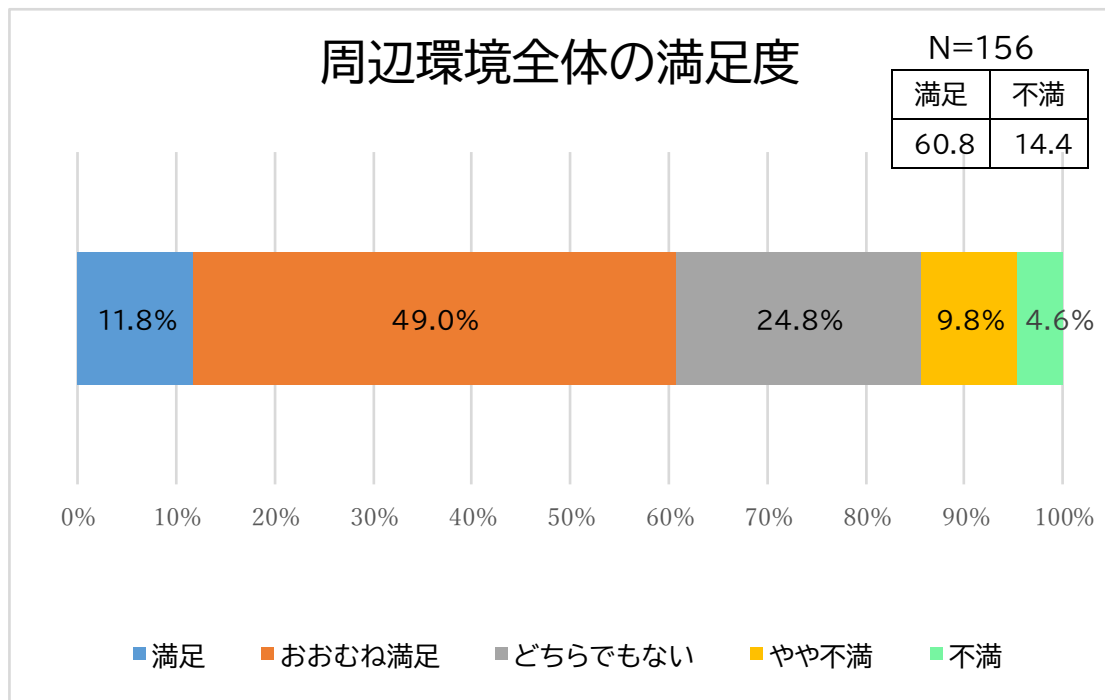
### (3-1) 有料化による行動変化の内容



●行動変化の内容は、「マイバッグ(エコバッグ)を使用するようになった」が、93.6%と最も多く、次いで「少量の買い物のときは、レジ袋を辞退するようになった」が60.8%となっている。

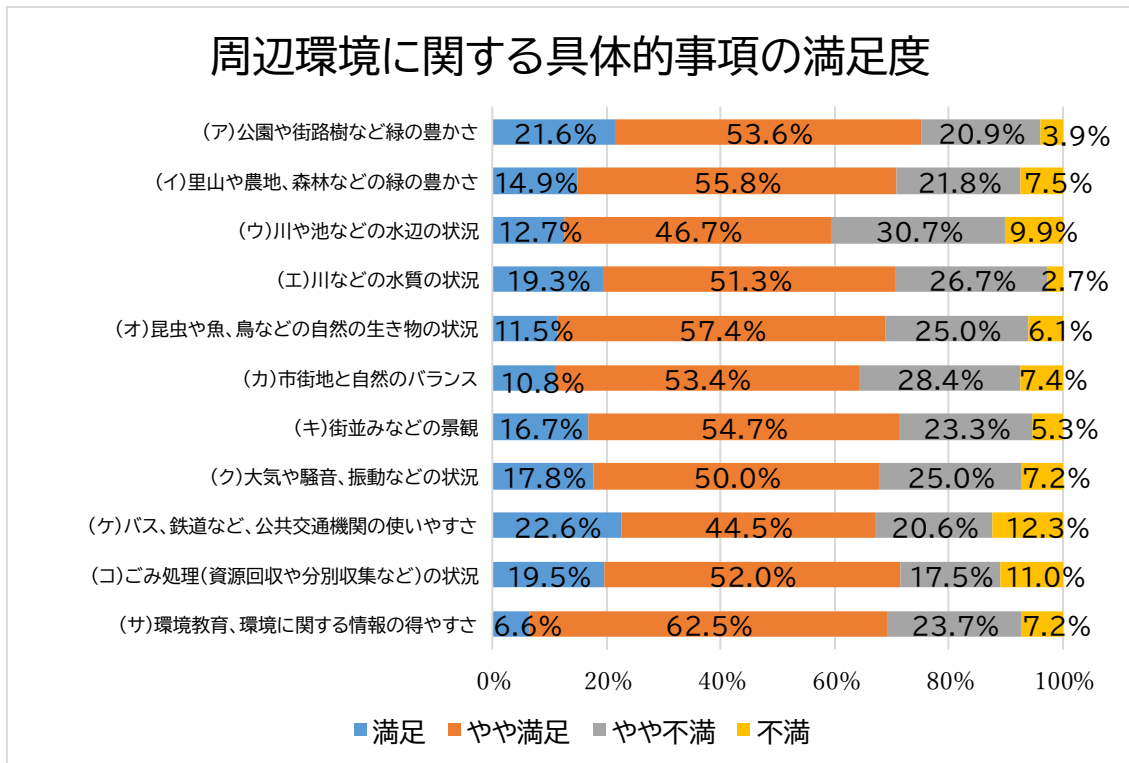
## 4 環境全般について

### (1) 周辺環境全体の満足度



●周辺環境全体の満足度は、60.8%となっている。

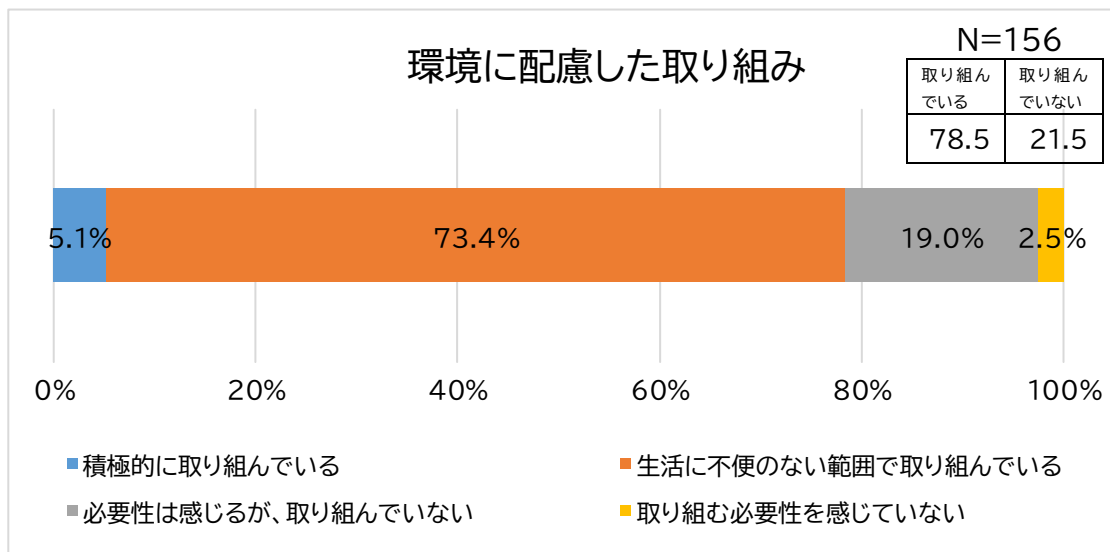
## (2) 周辺環境に関する具体的事項の満足度



項目	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(サ)
満足	75.2	70.7	59.4	70.6	68.9	64.2	71.4	67.8	67.1	71.5	69.1
不満	24.8	29.3	40.6	29.4	31.1	35.8	28.6	32.2	32.9	28.5	30.9
回答者数	153	147	150	150	146	148	150	152	155	154	152

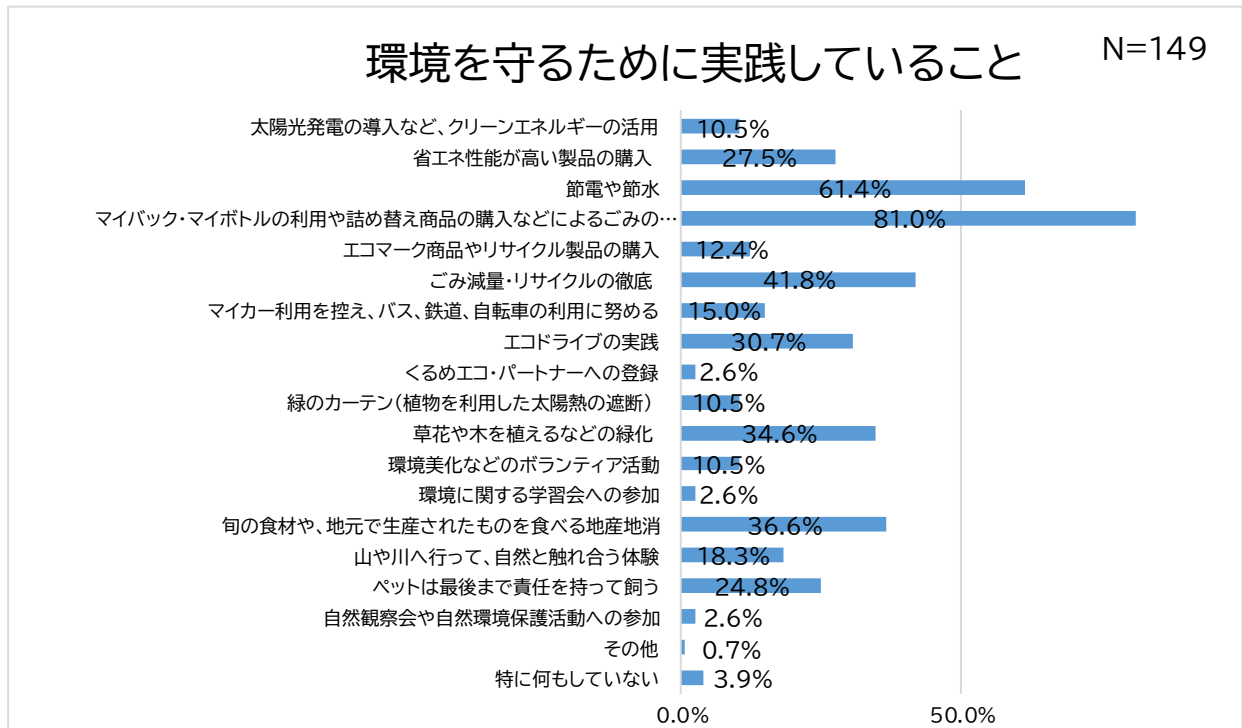
- 「公園や街路樹など緑に豊かさ」が75.2%と最も多く、次いで「ごみ処理(資源回収や分別収集など)の状況」が71.5%となった。
- 満足度が最も低かったのは、「川や池などの水辺の状況」の59.4%であった。

## (3) 環境に配慮した取り組み



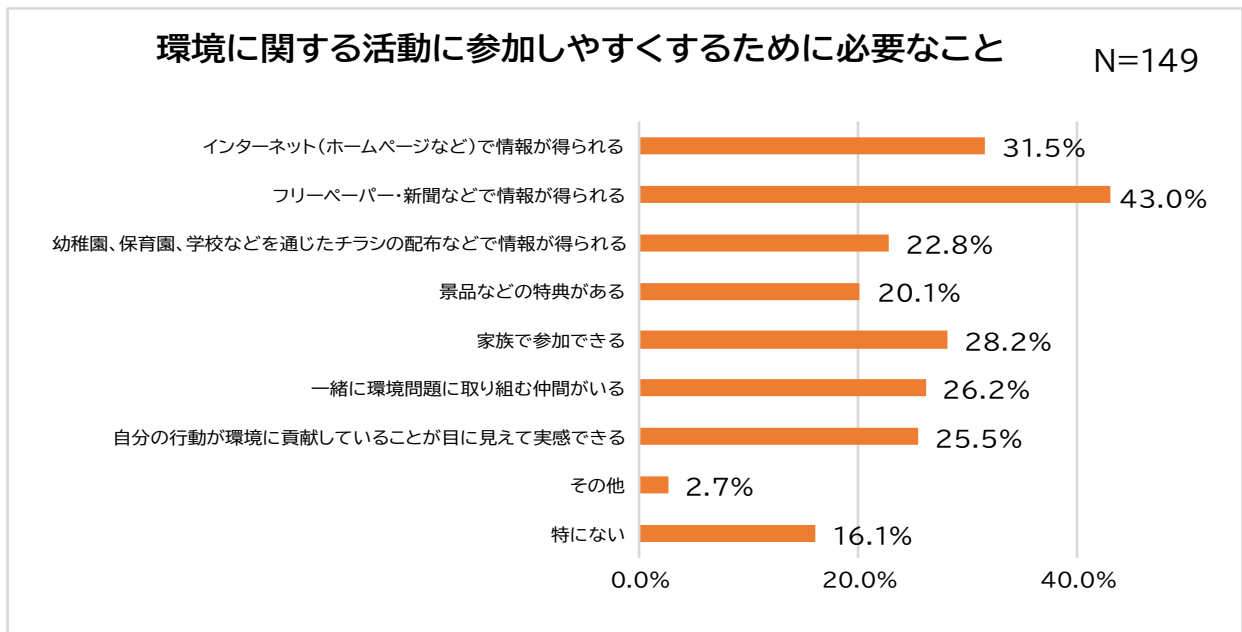
- 環境に配慮した取り組みを実践していると回答した人は、78.5%となっている。また、取り組んでいないと回答した人の中では、20歳代以下が最も多く、次いで30歳代となっている。

#### (4) 環境を守るために実践していること



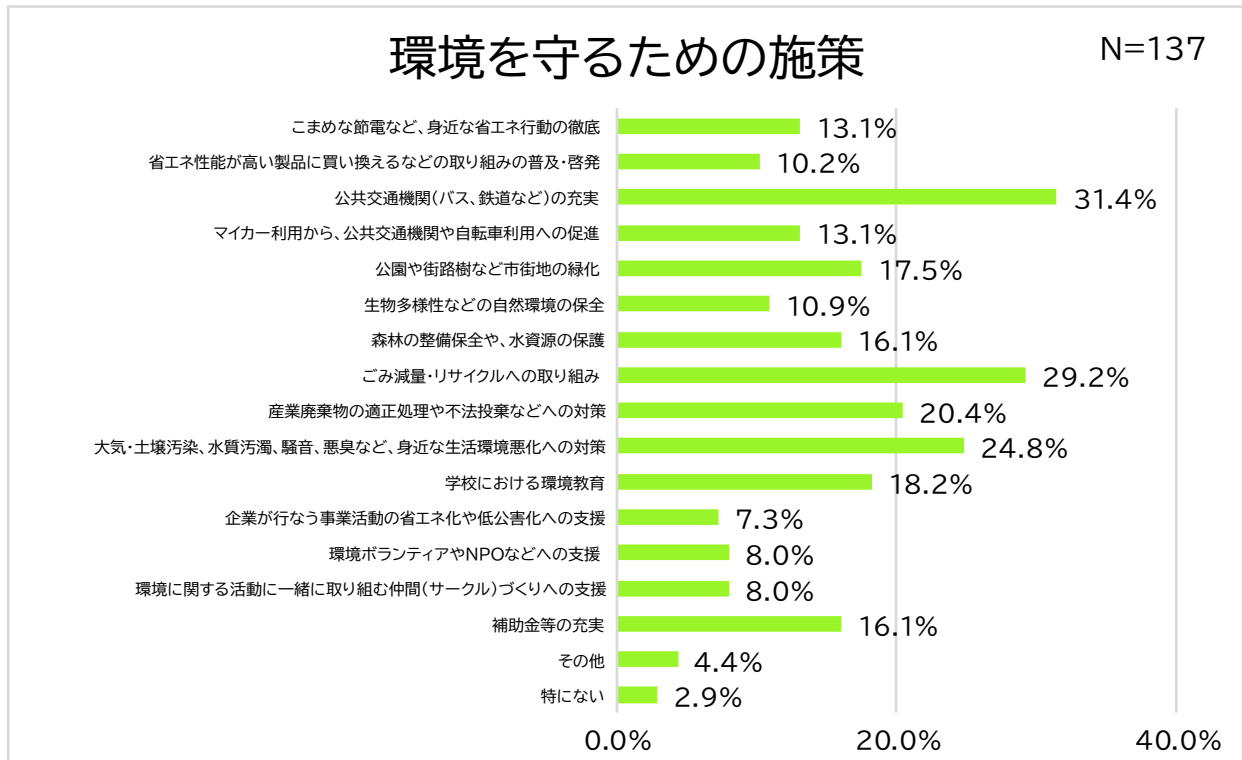
●日常生活で実践していることは、「マイバッグ・マイボトルの利用や詰め替え商品の購入などによるごみの減量」が81.0%で最も多く、次いで「節電や節水」が61.4%となっている。

#### (5) 環境に関する活動に参加しやすくするために必要なこと



●環境活動に参加しやすくするために必要なことは「フリーペーパー・新聞などで情報が得られる」43.0%で最も高く、次いで「インターネット(ホームページなど)で情報が得られる」が31.5%となっている。

## (6)環境を守るための施策



●環境を守るための施策としては「公共交通機関(バス、鉄道など)の充実」に力を入れてほしいと回答した人が31.4%と最も多く、次いで「ごみ減量・リサイクルへの取り組み」が29.2%となっている。

### ■参考(その他を選択した方から寄せられた意見)

調査項目	意見
問8 自然環境保全活動の参加について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さい子どもと参加できるものが良い</li> <li>・空き地の草取り</li> </ul>
問9 市民浸透の手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や職業に関わらず、意欲を持って参加できる心</li> <li>・外国人の教育 ・森林保護</li> <li>・筑後川を昔の姿に戻したい</li> <li>・市長、議員、市役所の方々が率先して動いていただく</li> </ul>
問13 プラスチック削減の具体的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別を細やかに地域で</li> <li>・ポイ捨てしない</li> <li>・家でのごみ箱減らしプラ袋を出来るだけ使用しない</li> <li>・ごみの分別を正しく</li> <li>・詰め替えタイプのものを選んでいる</li> <li>・プラスチックに入っている物はあまり買わない</li> <li>・なるべくプラスチックを持ち帰らないようにしている</li> <li>・プラスチック製ごみの回収になるべく気をつける</li> </ul>
問15 行動変化の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック製ごみの回収になるべく気をつける</li> <li>・以前から。当たり前です</li> <li>・レジ袋を大切にするようになった</li> <li>・エコバッグに入る分しか買わなくなった</li> </ul>
問20 環境に関する活動に参加しやすくするために必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSで発信頂けると参加のきっかけになると思います</li> <li>・興味関心が高いかどうかと実行することで特別感がないと人を動かせない気がしますね</li> </ul>
問21 環境を守るための施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車利用促進のため、安心して乗れる自転車道路の整備</li> <li>・どれも同じくらいなのでわからない</li> <li>・75歳以上はバス代金を無料にする</li> </ul>

#### 4. アンケート結果考察

生物多様性については認知度が低く、より一層の生物多様性への理解を広める普及啓発の必要があると考えられる。

また、保全活動への参加については、約6割の方が参加したいと回答しており、市民が参加しやすい保全活動、あるいは参加したくなるような仕組みやきっかけづくりを考えていく必要がある。

海洋プラスチック問題については、近年メディア等でも大きく取り上げられていることから、約7割の方が認識している。

この問題解決に企業もワンウェイ容器などのプラスチック削減に取り組んでいること、また市民生活に関わりのあるレジ袋の有料化などもあり、更に問題意識が向上し、使い捨てプラスチックを減らす取り組みを実践している方が9割いる結果になったと考える。

環境全般では、周辺環境の満足度では、約7割の方が周辺環境に満足しており、環境に配慮した取り組みや実践を約8割の方が取り組んでいる。

環境に関する活動に参加しやすくするために必要なこととしては、「フリーペーパー・新聞などで情報が得られる」「インターネット(ホームページなど)で情報が得られる」など情報へのアクセスを求める意見が多くなっている。

環境を守るための施策としては「公共交通機関(バス、鉄道など)の充実」に力を入れてほしいと回答が多く、回答した人の中でも、西部地域の方が最も多かった。

「公共交通機関(バス、鉄道など)の充実」のほか、「ごみ減量・リサイクルへの取り組み」「大気・土壌汚染、水質汚濁、騒音、悪臭など、身近な生活環境悪化への対策」などが上位となっており、自身の生活環境に直結する環境問題への対策や取り組みが重視されているようである。



## 5. アンケート調査内容

### 令和2年度環境に関するアンケート

#### 記入上のお願い

- ◆この調査票は、封筒のあて名の方が調査の対象者です。その方が必ず最後まで通して記入してください。
- ◆回答の記入は、鉛筆または黒・青のボールペンなどをお願いいたします。
- ◆回答は、該当項目の番号を別紙回答票に記入してください。
- ◆各問で、「その他（具体的に：）」の番号を記入した方は、その内容を具体的に記入してください。
- ◆この調査は、郵送にて回収いたします。同封している返送用封筒に、回答票を入れて12月14日（月）までにお送りください。

#### 問 1 あなたの性別を教えてください。

- 1 女性                      3 (                      ) ※自認する性別をご記入ください  
2 男性                      4 無回答

#### 問 2 あなたの年齢を教えてください。

- 1 20歳代以下              4 50歳代  
2 30歳代                    5 60歳代  
3 40歳代                    6 70歳代以上

#### 問 3 あなたの職業を教えてください。

- 1 農林漁業                      4 給料所得者（パート・アルバイトなど）      7 無職  
2 自営業                        5 学生（予備校を含む）                      8 その他  
3 給料所得者（常勤）      6 家事に専念

#### 問 4 あなたのお住まいの地域を教えてください。

#### 地域区分（校区）

- 1 東部                      6 中央南部  
2 北部                      7 南西部  
3 中央東部              8 西部  
4 南東部  
5 中央部

東部	山川、山本、草野、善導寺、大橋、船越 水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸
北部	小森野、合川、宮ノ陣、北野、弓削、大城、金島
中央東部	西国分、東国分、御井
南東部	上津、高良内、青峰
中央部	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
中央南部	鳥飼、金丸、南、津福
南西部	荒木、大善寺、安武
西部	城島、下田、青木、浮島、江上、犬塚、三潞、西牟田

## ■生物多様性について

問 5 地球上には、森、里山、川、海など様々な自然環境に適応して生息している生きものが約 3,000 万種いると言われていています。この多様な生きものが「食べる、食べられる」の関係をはじめ、複雑に関わりあい、様々な環境に合わせて生活していることを「生物多様性」と言います。

あなたは、「生物多様性」という言葉を知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 内容をよく知っている
2. 内容をある程度知っている
3. 言葉を聞いたことがある
4. 全く知らない

問 6 「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を目指すためには、「自然と暮らしがつながる仕組みづくり」が必要です。そのためにも一人ひとりが身近なところから行動することが重要です。

日々の生活の中で、あなたは自然や生きものを守ることを意識して、何か行動をしていますか？  
(あてはまる番号に1つだけ○印)

1. している
2. していない

### ※参考事例

- ・ガーデニングや緑のカーテンづくりをして緑を増やしている
- ・自然と触れ合って、家庭での自然教育を実践している
- ・ペットは最後まで責任をもって飼育している
- ・輸送や生産エネルギーの削減にもつながるため、地産地消に取り組んでいる
- ・環境に優しい商品を購入している
- ・自然環境保護活動に参加している
- ・手作り堆肥で、野菜などを作っている
- ・地域の清掃活動に参加している 等

問 7 「生物多様性」を守るための活動に、あなたは参加したいと思いますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 参加したい
2. 内容によっては参加したい
3. あまり参加したくない
4. 参加したくない
5. わからない

問 8 問7で「1. 参加したい」「2. 内容によっては参加したい」と答えた人にお聞きします。どのような活動なら参加しますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

1. 動植物の生息・生育調査
2. 植樹、間伐、下草刈りなどの森林保全活動
3. 海岸や川などの清掃活動
4. 絶滅危惧種などの希少生物の保護や生息・生育外保全活動
5. 外来生物の駆除
6. 休耕田畑を活用した農業体験
7. 講演会、シンポジウムへの参加
8. 自然観察会や自然保護などのイベント
9. 教育活動（小学生等との交流）
10. 市民活動団体との交流会への参加
11. その他（ ）

問 9 久留米市の豊かな自然を守り、次の世代に引き継いでいくためには、生物多様性の重要性を理解し、行動できるようになることが必要となります。生物多様性の重要性を市民に浸透させるために、あなたは何が必要だと思えますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 周知・啓発イベントの開催
2. 教育機関や行政機関での環境学習の機会の増加
3. 広報紙やホームページなどによる広報の強化
4. わからない
5. その他（ ）

問 10 久留米市内にある花や緑、水辺などの自然環境の魅力は高まっていると思えますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 思う
2. 思わない

### ■使い捨てプラスチック製品の使用（購入）抑制について

問 11 近年、プラスチックごみの海洋流出が、新たな地球規模の問題になっています。温暖化に続く21世紀の新たな地球環境問題です。生態系を含めた海洋環境への影響、沿岸域居住環境等に影響を及ぼすとされています。この『海洋プラスチックごみ問題』を知っていますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 内容をよく知っている
2. 内容をある程度知っている
3. 言葉を聞いたことがある
4. 全く知らない

問 12 あなたはふだんの生活の中で、使い捨てプラスチック製品（※）を減らす取り組みをしていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

（※）使い捨てプラスチック製品とは、一度使用したら、再資源化または廃棄してしまうプラスチック類。例えば、テイクアウト用の飲料カップやストロー、シャンプーなどのプラスチック製容器、商品を包んでいるビニール製の包装、レジ袋、ペットボトルなど。

1. 積極的に取り組んでいる
2. 生活に不便のない範囲で取り組んでいる
3. 必要性は感じるが、取り組んでいない
4. 取り組む必要性を感じていない

問 13 問 12 で「1.積極的に取り組んでいる」「2.生活に不便のない範囲で取り組んでいる」と回答した方にお聞きします。プラスチックごみ削減のために、あなたは何に取り組んでいますか。（あてはまる番号にいくつでも○印）

1. マイバック（エコバック）を使用している
2. マイボトルを使用している
3. テイクアウト等でプラスチック製のスプーン、ストロー等を受け取らないようにしている
4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 14 マイバック等の消費者のライフスタイルの変革を促し、プラスチック製品の過剰な使用を抑制するために、令和2年7月からプラスチック製買物袋（レジ袋）が有料化されました。有料化後、買い物の際などに行動の変化はありましたか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

1. 変化はあった
2. 特に変化はなかった

問 15 問 14 で、「1.変化はあった」と回答した方にお聞きします。行動等の変化は、どのようなものですか。（あてはまる番号にいくつでも○印）

1. マイバック（エコバック）を使用するようになった
2. 少量の買い物のときは、レジ袋を辞退するようになった
3. 有料化をきっかけに使い捨てプラスチック製品の使用削減に取り組むようになった
4. 簡易包装に努めるようになった
5. 詰め替え用商品を使用するようになった
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## ■環境全般について

問 16 あなたは、お住まいになっている周りの環境に、現在どのくらい満足していますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 満足
2. おおむね満足
3. どちらでもない
4. やや不満
5. 不満

問 17 あなたは、お住まいになっている周りの環境の中で、次の(ア)～(サ)それぞれの具体的な事柄に現在どのくらい満足していますか。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○印)

	満足	おおむね満足	やや不満	不満
(ア) 公園や街路樹などの緑の豊かさ				
(イ) 里山や農地、森林などの緑の豊かさ				
(ウ) 川や池などの水辺の状況				
(エ) 川などの水質の状況				
(オ) 昆虫や魚、鳥などの自然の生き物の状況				
(カ) 市街地と自然のバランス				
(キ) 街並みなどの景観				
(ク) 大気や騒音、振動などの状況				
(ケ) バス、鉄道など、公共交通機関の使いやすさ				
(コ) ごみ処理(資源回収や分別収集など)の状況				
(サ) 環境教育、環境に関する情報の得やすさ				

問 18 あなたはふだんの生活の中で、環境に配慮した取り組みをしていますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

1. 積極的に取り組んでいる
2. 生活に不便のない範囲で取り組んでいる
3. 必要性は感じるが、取り組んでいない
4. 取り組む必要性を感じていない

問 19 あなたは環境に配慮した取り組みとして、どのようなことを実践していますか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

1. 太陽光発電の導入など、クリーンエネルギーの活用
2. 省エネ性能が高い製品の購入
3. 節電や節水
4. マイバック・マイボトルの利用や詰め替え商品の購入などによるごみの減量
5. エコマーク商品やリサイクル製品の購入
6. ごみ減量・リサイクルの徹底
7. マイカー利用を控え、バス、鉄道、自転車の利用に努める
8. エコドライブの実践 (アイドリングストップ、加減速の少ない運転、早めのアクセルオフなど)
9. くるめエコ・パートナーへの登録
10. 緑のカーテン (植物を利用した太陽熱の遮断)
11. 草花や木を植えるなどの緑化
12. 環境美化などのボランティア活動
13. 環境に関する学習会への参加
14. 旬の食材や、地元で生産されたものを食べる地産地消
15. 山や川へ行って、自然と触れ合う体験
16. ペットは最後まで責任を持って飼う
17. 自然観察会や自然環境保護活動への参加
18. その他 (具体的に： )
19. 特に何もしていない

問 20 あなたが環境に関するイベントやボランティア活動に参加しやすくするために、どのようなことがあれば良いと思いますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

1. インターネット (ホームページなど) で情報が得られる
2. フリーペーパー・新聞などで情報が得られる
3. 幼稚園、保育園、学校などを通じたチラシの配布などで情報が得られる
4. 景品などの特典がある
5. 家族で参加できる
6. 一緒に環境問題に取り組む仲間がいる
7. 自分の行動が環境に貢献していることが目に見えて実感できる
8. その他 (具体的に： )
9. 特にない

問 21 あなたは、環境を守るために、久留米市はどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。次の中から3つまで（2つ以内でもかまいません）選び、番号に○印をつけてください。

1. こまめな節電など、身近な省エネ行動の徹底
2. 省エネ性能が高い製品に買い換えるなどの取り組みの普及・啓発
3. 公共交通機関（バス、鉄道など）の充実
4. マイカー利用から、公共交通機関や自転車利用への促進
5. 公園や街路樹など市街地の緑化
6. 生物多様性などの自然環境の保全
7. 森林の整備保全や、水資源の保護
8. ごみ減量・リサイクルへの取り組み
9. 産業廃棄物の適正処理や不法投棄などへの対策
10. 大気・土壌汚染、水質汚濁、騒音、悪臭など、身近な生活環境悪化への対策
11. 学校における環境教育
12. 企業が行なう事業活動の省エネ化や低公害化への支援
13. 環境ボランティアやNPOなどへの支援
14. 環境に関する活動と一緒に取り組む仲間（サークル）づくりへの支援
15. 補助金等の充実
16. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
17. 特にない

